

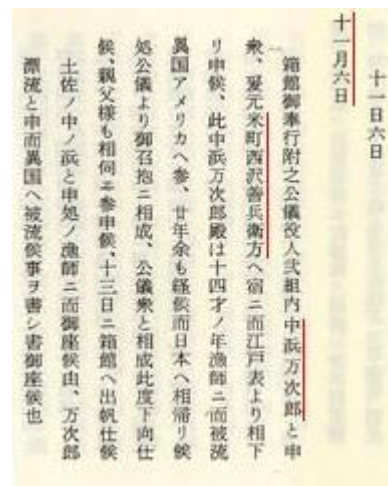
メールマガジン「あおり歴史トリビア」(発行:青森市民図書館歴史資料室)

時期は少し下りますが、幕末の安政4年(1857)11月6日に、ジョン万次郎としても知られる土佐の漁師で漂流してアメリカの船に救助された、中^{なか}浜^{はま}万^{まん}次^{じろ}郎(一昨年大河ドラマ「龍馬伝」では、トータス松本さんが演じていた…とか)が幕府の役人のひとりとして、青森にやってきました。そしてその時の宿が、なんと「米町」の西沢善兵衛さんのお宅だったのです。

どうも、西沢さんのお宅は大町ではなく、米町にあったと理解しなくなりますね。



ジョン万次郎と懇談したという
西沢素庵の句碑(連心寺)



ジョン万次郎の
西沢家への止宿に関する記事
(『青森市史』第七巻より)

そう、言い忘れてましたが、西沢さんの職業は、文化8年(1811)の記録によれば、「造酒」家業となっています。

機会があれば、江戸時代の青森町で暮らす人々の仕事についてもご紹介できたらと考えています。せば…。